

干合を覚えるコツ

干合は天(陽の干)と地(陰の干)が結びついて、別の新たな五行が生まれる現象をいいます。
陽(男性)と陰(女性)が仲良く結びついて別の新たな世界(家庭)を作るということから、干合は「夫婦の形」を意味します。干合は「干(精神)が合わさる(融合)」、精神的融合を言い、精神的な結びつきが強い相性となります。
干合を覚える方法として、ひとつの参考になれば幸いです。

① 陽の十干を「甲」を出発として、左から書いていきます。十干のはじまりは「甲」です。「甲」から書きます。
甲(木) 生 丙(火) 生 戊(土) …… と、相生の順で書きます。

(天)
(陽干) 甲 → 丙 → 戊 → 庚 → 壬
(木) (火) (土) (金) (水)

② 次に、陰の十干を「己」を出発として、左から書いていきます。
己(土) 生 辛(金) 生 癸(水) …… と、相生の順で書きます。

(地)
(陰干) 己 → 辛 → 癸 → 乙 → 丁
(土) (金) (水) (木) (火)

※ここで、「己」から書く理由は、陰の干は「天と地」でいえば、「地」です。地は地球で、土性です。

③ 下のように、陽の干 と 陰の干 の組み合わせが干合です。

(天)
(陽干) 甲 丙 戊 庚 壬

(地)
(陰干) 己 辛 癸 乙 丁

↓ ↓ ↓ ↓ ↓

甲己 丙辛 戊癸 庚乙 壬丁

土性 水性 火性 金性 木性

↑
土性が出発

→剋 →剋 →剋 →剋

甲己 干合は土性です。
そこから、上のように相剋の五行を書いていってください。
これが、それぞれの干合の五行変化になります。
夫婦は地球(土)にいるから夫婦になれる。土性が出発です。

別の方法として、十干を縦に書いていく。
覚えやすい方法でどうぞ。



甲 己 土性

↓

乙 庚 金性

↓

丙 辛 水性

↓

丁 壬 木性

↓

戊 癸 火性